

令和6年度 柴原地域包括支援センター

## 豊中市地域包括支援センター外部評価表

○仕様書[4] 業務内容 ア) 介護予防ケアマネジメント業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>介護予防ケアマネジメント業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</u></p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p><b>【目標と具体的な取組み内容】</b></p> <p>目標： 介護支援専門員に対して引き続き自立支援ケアマネジメントについての研修会等の案内及び日常の委託した介護予防サービス計画管理を通して意識づけを行っていきます。</p> <p>内容： 「しばはら結びの会」として年6回、地域の介護支援専門員と研修会を開催し、一人で業務を行っている介護支援専門員の交流の場「一人ケアマネの会」も設け課題や悩み等を共有できる場になりました。その結果、顔の見える関係から信頼関係が深まり親しみやすい地域包括支援センターに近づいたことで、相談しやすい環境づくりができました。</p> <p><b>【課題】</b> 研修会は圏域内の参加者の約9割が顔馴染みとなり、「しばはら結びの会」を通じて自立支援のアセスメント方法について十分学ぶ機会を提供しました。圏域外や今まで参加していない介護支援専門員にも参加できるような工夫がもっと必要と考えています。</p>	<p><b>【取組進捗状況内容】</b> 介護支援専門員が情報共有・情報交換出来る場を持つことによって、介護支援専門員の資質向上、ケースの共有等につながられています。</p> <p><b>【特に優れている点】</b> 介護支援専門員が、気楽に参加しやすい書式や形式の工夫を行う事によって、参加促進につながられています。</p> <p><b>【課題】</b> 参加できる介護支援専門員の裾野の拡充が望まれます。</p>

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き、介護支援専門員が抱える問題を把握し、解決に繋がる研修や事例検討会を開催していきます。</li><li>・地域包括支援センター職員全員で、アセスメント支援訪問を、積極的に行ってきた結果として、リハビリテーション専門職から自立支援に向けた視点・方法を学びました。これらを、訪問通所型短期集中サービス（豊中はつらつ教室）に繋げ、自立支援の実践を経験した内容を、委託先の居宅介護支援事業所へ積極的に行い周知していきます。</li></ul>	
--	--	---	--

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 イ) 総合相談支援及び権利擁護業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>総合相談支援及び権利擁護業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>予防的アプローチと地域づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>3職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取り組みを実施している。</p>	<p><b>【目標と具体的な取組み内容】</b></p> <p>目標： 地域共生社会の実現に向けて、関係機関との連携を強めていきます。また、新たな連携を生み出し地域課題に取り組みます。</p> <p>内容： ・コンビニエンスストアの移動販売を今年度も継続しています。関係者と話し合いを重ね、東農園（生き生き野菜）の野菜販売を試行する等、地域住民に利用していただける工夫をすることで買物に来る住民が増えました。 ・「刀根山ローラー作戦」として、刀根山校区を順次全戸訪問し、地区民生委員、校区福祉委員、地域の役員、社会福祉協議会の方々、地域の役員の方との、ネットワークをより強化することができました。今年度は新たに箕輪校区のローラー作戦にも参加し今後の連携強化の足掛かりになりました。 ・走井地区にて、障害の相談支援事業所と合同相談会を2回開催し、相談者を必要な支援に繋げました。</p> <p><b>【課題】</b> 参加者が固定化してきているコンビニエンスストア移動販売や、走井地区での合同相談会について周知方法、地域のニーズ、実施内容等の再検討が必要です。</p>	<p><b>【取組進捗状況内容】</b> 多機関連携会議への参画や、地域ネットワークを活用した協働の取組み等を継続し、拡充に取り組まれています。</p> <p><b>【特に優れている点】</b> 障害分野や児童分野の活動にも参画することによって、日常から多機関と連携して支援につなげられる下地作りへの取組みを継続されています。</p> <p><b>【課題】</b> 専門職や行政との取組みは推進されていますが、そこに限らず、地域と一体的になった重層的支援体制の拡充・構築に期待します。</p>

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ローラー作戦に関しては現在の世帯区別なく全戸訪問する方法だけでなく、関係者との意見交換を行いながら、高齢者世帯に絞った訪問を検討していきます。</li><li>・コンビニエンスストア移動販売に関しては試行中の東農園（生き生き野菜）の野菜販売を実施し、またほかの地域での実施も検討していきます。合同相談会に関しては引き続き周知活動に取り組みます。</li></ul>	
--	--	--	--

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>地域アセスメントを実施し、地域の实情に応じた取組みを実施している。</u></p>	<p><b>【目標と具体的な取組み内容】</b></p> <p>目標： それぞれが役割をもって支え合い、共に高め合える地域をめざすために、住民・関係機関がお互いについて知り、地域を身近に感じられるよう、顔の見える関係づくりを行います。また、視覚的に分かりやすいツールを共有します。</p> <p>内容： ・「高齢部会」の開催を通じて、地域にある介護事業所や施設、医療機関、行政機関等が取組み内容を発表したことで、お互いの理解を深め、を知り、次につながる取組みになり高齢者をスムーズに支援できる体制を整えました。 ・上記を踏まえ、事業所等の場所が分かりやすいように「マップ」を作成し、配布しました。出席者からは、「事業所の場所が視覚的にわかり、これだけたくさんの関係者で支え合っていると大変嬉しく感じました」という意見がありました。また、「地域の広報誌に掲載したい」という声もありました。</p>	<p><b>【取組進捗状況内容】</b></p> <p>地域のローラー作戦や、民生委員、校区福祉委員等との連携で、地域ニーズや地域課題の把握に取り組まれています。</p> <p><b>【特に優れている点】</b></p> <p>地域住民の声を基に、地域マップの作成・配布が行われています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>アセスメントの手法と目的の明確化が望まれます。</p>

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

		<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての住民や事業所が高齢部会に参加することは難しいため、何らかの形でつながる機会を持ってないか、今後検討する必要があります。</li> <li>・必要に応じてグループワークなどを行い、より住民と関係機関の距離を縮められるような働きかけが必要です。</li> <li>・出席できる事業所が限られていたことや、グループワークができなかったことが課題です。</li> </ul> <p><b>【改善の方策と次年度の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も高齢部会などを通じて、課題に対して地域全体で目を向けることができるような機会を提供していきます。</li> <li>・地域住民や関係機関との情報共有の場を設け、一体となって連携できるような関係づくりを行います。</li> <li>・マップへの掲載等を通じて、高齢部会に参加できない事業所を知ってもらうきっかけ作りを行います。</li> <li>・地域や介護事業所より、災害時の協力体制の取り方や防災について話し合いたいという意見が出たため、BCP（事業継続計画）をテーマにした取組みについて検討しています。</li> </ul>	
--	--	---	--

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 エ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点をに入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</u></p> <p><input type="checkbox"/> 多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p><b>【目標と具体的な取組み内容】</b></p> <p>目標： 高齢者が支えあうネットワーク構築への支援</p> <p>内容： ・通いの場グループから座ってできる運動を教えて欲しいという要望がありポッチャ体験会を開催。参加者全員が楽しむことができました。 ・希望する通いの場グループに対して市の理学療法士より、体操指導の実施をしたことにより、効果的な下肢筋力強化などを専門職に再確認でき、パワーアップ体操の復習ができたと言われました。 ・体操 DVD の操作が苦手なメンバーに対して、誰にでもできるようにと説明書を作成する事で、全員が操作に携われるようになりました。 ・通所訪問型短期集中サービス（豊中はつらつ教室）卒業生を、通いの場グループにつなぎました。その結果、その後の支援を続けることができ、グループの人数も増え活性化にもつながりました。 ・大池校区で開催されている「みんなの保健室」では年3回歩行測定会を実施し、市や民間の理学療法士から測定結果に応じてアドバイスを貰いました。</p>	<p><b>【取組進捗状況内容】</b></p> <p>既存グループの意見やニーズを踏まえた、専門的支援の提供や、参加者が継続しやすいための工夫に取り組まれています。</p> <p><b>【特に優れている点】</b></p> <p>希望を踏まえたリハビリテーション専門職の指導を、通いの場グループに取り入れていく事によって、その後の継続した支援につながられています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>地域毎に異なる場の確保を踏まえた、今後の展開に期待します。</p>

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

		<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場新規立ち上げに向けた普及啓発活動を複数回実施しましたが、中心となるメンバーが見つからず、立ち上げにはつながりませんでした。</li> <li>・毎月の体力測定会への参加が社会参加になっている高齢者や、はつらつ教室卒業生への体力測定会終了後の受け皿が少ない現状があります。</li> </ul> <p><b>【改善の方策と次年度の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャを地域内のつながりを創出するツールとして活用を検討します。</li> <li>・通いの場がない地域に対し、自治会の年度末に開催する会議へ参加し、普及啓発を行います。</li> <li>・地域教室の終了後に同じ会場で体力測定会開催を検討します。</li> </ul>	
--	--	--	--

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</u></p>	<p><b>【目標と具体的な取組み内容】</b></p> <p>目標： 認知症の方とご家族が安心して暮らせる地域づくりのため、社会資源を把握・活用し、必要に応じて参画や運営に携わります。また、地域の理解を深める啓発活動を通じて、誰もが安心して集える環境づくりに取り組みます。</p> <p>具体的な取組み内容： ・認知症サポーター養成講座の開催、オレンジカフェへの参加を促進するため、商業施設（スーパー・コンビニ・美容院）、医療機関、金融機関、交番、地域住民や商店（スーパー・美容院・病院・薬局・コンビニ）、民間企業（銀行・郵便局・交番等）、介護サービス事業所へ訪問、また、民生・児童委員定例会や「しばはら結びの会」、高齢部会でも案内を行いました。 ・昨年度立ち上げた認知症専門クリニックでのオレンジカフェには多くの当事者・家族、オレンジチームが参加し、リアルな体験談をもとに情報共有を図ることができました。継続している2つのオレンジカフェにも地域住民の参加が徐々に増えており、認知症や地域の社会資源の話題に触れる場となってきています。</p>	<p><b>【取組進捗状況内容】</b></p> <p>オレンジカフェへの参加によって、認知症当事者の家族等が、情報共有・情報交換を行え、不安の軽減や安心感を得られるよう取り組まれています。</p> <p><b>【特に優れている点】</b></p> <p>認知症当事者とその家族等が、リアルな体験談の共有によって、不安の軽減や、課題の軽減につながられています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>地域の社会資源を巻き込んだ、オレンジカフェの拡充が望まれます。</p>

## 令和6年度 柴原地域包括支援センター

		<b>【課題】</b> 社会資源の把握・活用のために、地域住民・民間企業へのさらなる周知活動（オレンジカフェ・認知症サポーター養成講座）を行う必要があります。	
		<b>【改善の方策と次年度の取組み】</b> 行政や民生委員とも連携を図り、町内の掲示板も活用するなど活動（オレンジカフェ・認知症サポーター養成講座）の周知を図ります。	